

孝子与七の石碑

この素朴な石碑は、歴史ある熊川宿という宿場町の下ノ町の入口近くに設置されており、この地域の親孝行の鑑である与七という男を称えるものです。

与七は約 300 年前に妻と一緒に熊川宿に住んでいました。この夫婦は非常に貧しかったにも関わらず、自分たちが飢えても高齢の両親に御馳走を食べさせ孝行のかぎりを尽くしました。この夫婦の両親に対する敬意と献身の話聞いた時、小浜藩の領主は彼らの献身を称え、この家族全員を支援するために米を与えました。

石碑の近くには、展示や若狭文化に関する講義、体験教室などのためのスペースを備えた休憩施設があり、この物語に代表される親子の絆を称えてこの施設は与七と名付けられました。